

みどりかがやく

似ているけれども異なるもの

サザンカの花が咲いています。今年はチャドクガが発生しました。幼虫には8～50万本の毛があり、この毛が皮膚に触れると炎症を起こし、かゆくなります。業者に消毒をしてもらうまでの間、チャドクガの幼虫を駆除するため、幼虫のついた枝を切ったり、ガスバーナーで焼いたりしていました。

サザンカに似た植物にツバキがあります。2つを見分ける方法にはいくつかありますが、花がつかないとなかなか見分けが付きにくいものです。

花が付いているときは、花びらや花の落ち方を見ます。サザンカは花びらが1枚1枚はらはらと落ちますが、ツバキは花首からどさっと落ちます。ツバキは首から落ちてしまうため、江戸時代には武士に嫌われていた花です。花を付けていないときは、見分け方が難しくなります。葉を太陽に透かしてみても葉脈がクリアな方がツバキで、黒っぽい方がサザンカ。葉の縁（鋸歯と言います）を見て、ぎざぎざが浅い方がツバキで、深い方がサザンカと言われます。しかし、この見分け方もツバキとサザンカを一緒に見比べればわかりますが、一種類だけだと見分けが付きにくいものです。葉の裏側を見たときに毛が生えていないものがツバキで、葉脈に沿って毛が生えているものがサザンカという見分け方が一番わかりやすいように思います。

さて、8月17日に始まった91日間に及ぶ2学期が今日で終了します。暑かった夏から秋に向かい、新人大会、生徒会選挙、体育祭などの多くの行事がありました。12月に入り、2年生は修学旅行を経験しました。いろいろな行事を通して、人間関係を学び、生き方についての考え方を深め、中学生として成長してきました。そんな姿を見て、とても頼もしく思っています。また、今年は「みんなで合格しようよテスト」を3教科で実施しました。これは「この問題はできてほしい」という問題を月曜日に出題し、金曜日にテストを行うものです。最初に数学を行いました。公立高校入試の最初に出てきそうな問題を1題だけ出題しました。金曜日には数字を変えただけの問題を出題しテストをしました。英語は月曜日から日曜日までの単語を出題しました。国語は十二支を出題しました。いずれも基本的な問題です。決して難易度の高い問題ではありません。少し努力をすればできる問題です。日頃から少しずつ努力をして、それを積み重ねることで、大きな成果を得られるようになる。そして、できる喜びを味わえるようになる。努力することで、自己肯定感が高まっていく。「みんなで合格しようよテスト」は、このようなことを目指した取組です。

サザンカは漢字で山茶花。ツバキは椿。漢字で書くと全く違います。二つの花は、似ているところもありますが、違うところがあるからこそ見分けることができます。今年と来年、同じように時間は経過していきますが、学年が上がる子どもたちは、時間の使い方も一日の過ごし方も大きく変えることができます。子どもたちには、今年より来年が、一回りも二回りも成長できる1年にしてほしいと願っています。良いお年をお迎えください。



体育館前で咲く サザンカ